

えびはら直矢市政報告

発行人
海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-



2021年1号
2021.2.22



令和3年度一般会計予算が提案 コロナ禍により市税収入は15.7億減

『コロナ禍の臨時財政運営方針』に基づく福祉事業の廃止は撤回

2月19日に令和3年3月定例会が開会しました。3月23日までの33日間の間に、市長から提出された議案51件をはじめとした各種議案について審議を行います。

今回の議案のなかでも特に市民生活に影響が大きいのが令和3年度一般会計予算です。この予算には新型コロナウイルス感染症の影響が多く点で見られます。歳入の面では、個人市民税などの市税収入が落ち込むこと、その減少分を国からの補助金で補うため、国庫支出金が大きく膨らんでいることがあげられます。歳出においては、昨年市が示した『コロナ禍の臨時財政運営方針』に従い、市民の安全確保以外の工事を先送りしたことで土木費が減少しています。ちなみに、『臨時財政運営方針』では廃止するとされており私たちの会派で廃止の撤回を求めている「重度心身障害者福祉手当」と「難病者見舞金」については維持されました。

これまで一般質問で実施を求めている「子どもの貧困対策計画の策定」や「子ども家庭総合支援拠点の設置」、「成年後見センター」などの事業が計上されていることは評価できる点ですが、会派として凍結を求めている上平地区複合施設の設計のための予算が計上されており、これについては今後予算委員会の場で会派の代表の議員が追及していきます。



データでみる

令和3年度予算の特徴

歳入

	R2年度		R3年度
個人市民税	138億円	↓	127億円
法人市民税	16億円	↓	12億円
固定資産税	119億円	↓	117億円
国庫補助金	9億円	↑	16億円

■ 歳入における主な変化

- ・個人市民税や固定資産税など市税の減(-15.7億円)
- ・国庫支出金の増(+13.9億円)

歳出

	R2年度		R3年度
総務費	69億円	↑	82億円
民生費	326億円	↑	349億円
土木費	45億円	↓	37億円
公債費	65億円	↑	66億円

■ 歳出における主な変化

- ・総務費:コミュニティセンター改造工事(+12.7億円)
- ・土木費:安全確保以外の工事の先送り(-7.7億円)

※千万円以下四捨五入

※詳細は市ホームページをご覧ください。
『上尾市 令和3年度予算』で検索するか
右のQRコードからご参照ください。



3/16(火) 9:30 から一般質問を行います。

新型コロナウイルス対策のため傍聴の自粛をお願いしています。ぜひ、インターネット中継

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)をご覧ください。



Point

市が新たに取り組む事業について質問

今定例会での一般質問の日程が3月16日に決まりました。今回は①子ども・子育て支援、②多様性推進施策、③自然環境・生活環境、④民間との連携の4つのテーマについて、主に市として進捗のあった事業に基づき質問します。

子ども・子育て支援については、令和3年度予算案で新たに事業として提案された『子どもの貧困対策計画』の策定に伴い、学校や教育委員会の積極的な関与を提案する予定です。

多様性推進施策については、上尾市において他市に続き『パートナーシップ宣誓制度』がスタートすることを受けて、性的マイノリティの市民や障がい者、外国人市民など様々な方々について、当事者の声を施策に反映するための取り組みなどについて質問を行います。さらに、審議会より答申が為された『第3次環境基本計画』で上尾市内の希少動植物について記載されたことに伴うそれらの保護施策についても質問します。

ぜひ、皆さまのご意見をお伺いさせていただければと思います。



12月定例会での質問の様子

一般質問の4つのテーマと主な質問予定の内容

- ① 子ども・子育て支援 子どもの貧困、ひとり親家庭の支援、有機学校給食の導入
- ② 多様性推進施策 性的マイノリティ市民の支援、当事者の意見の反映、混合名簿
- ③ 自然環境・生活環境 地域猫活動、希少動植物の保護、荒川流域エコネット
- ④ 民間との連携 イオンモール上尾への期日前投票所の設置、ワクチン接種会場

活動報告



2021年2月3日

契約問題について全員協議会を開催

上尾市内に支店もしくは営業所を置く「準市内業者」にかかわる問題について全員協議会が開催されました。上尾市では営業所等を置く事業者に対して営業実態がない場合登録を認めないとの文書を出していますが、担当課長・部長はこの文書について「把握していなかった」と答え、ルールが守られていないことが明らかになりました。

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。

●上智大学法学部卒

●首都大学東京社会人類学教室修了。

国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在も子どもの複数の団体の運営に携わっている。2017年上尾市議会議員に初当選(現在2期目)。議会運営委員会副委員長。
家族:妻、長男、長女、次男